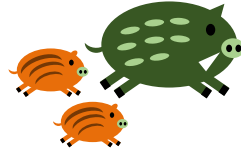


高 甲高進路通信

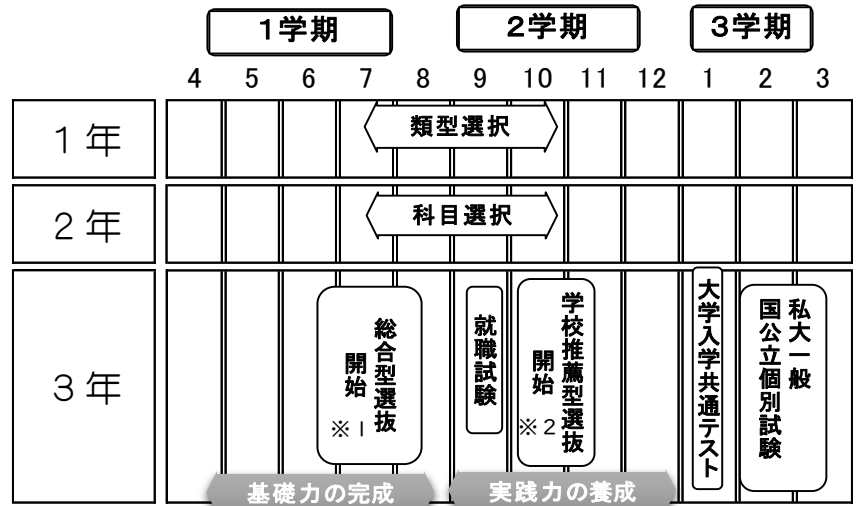


兵庫県立西宮甲山高等学校
進路通信第1号
令和2年5月26日
進路指導部

置かれた状況下で、どう過ごすか。

6月になりました。みなさん、登校している日だけでなく、休校の日も、課題等にしっかりと取り組むことができますか。不安がある人もいるかもしれませんが、行動すれば、不安は少しずつなくなっていくと思います。変わりゆく社会の状況に対応しながら、生活していきましょう。

右図▶は、3年間の進路の流れです。自分の目標がはっきりすれば、やるべきことが見えてきます。自分の学習ペースをつくり、周りに惑わされずに、進路実現に向けた準備を進めていきましょう。



(注) 大学入試の名称変更

入試改革により、大学入試の名称も変更されています。図の※1、※2については、下記のとおりです。

※1 「総合型選抜」… 「AO入試」と呼ばれていたもの

※2 「学校推薦型選抜」… 「公募制推薦」と呼ばれていたもの



〈学習について〉

毎日の学校生活が始まるまでの今の期間は、自分が必要なことに使える期間がたくさんあります。時間の使い方によって、今後の力のつき方が違ってきます。以下のことを心がけて、学習しましょう。

1. 学校の課題
2. 苦手分野の復習
3. 学習記録

学校での勉強以外に、みなさんが使っている「スタディサプリ」もどんどん活用してください。また、兵庫県教育委員会の学習支援サイト、NHK 講座等を活用する方法もあります。特に3年生は、市販の参考書や問題集を使うなど、受験に向けた学習も進めてください。



〈模試について〉

◎模試の目的

- ・自分の今の実力を確かめるため
- ・得意分野、不得意分野を見つけるため

ただ受験するだけで終わらず、結果の分析や、勉強方法の改善などに役立てましょう。

なお、日程は、新型コロナウイルスの感染拡大により、4月当初の予定から変更されています。受験日や内容が分かり次第、お知らせします。





◆ 3年生 (36回生) へ◆

学年の先生からお話がありましたが、人生は、置かれた状況や環境との勝ち負けではありません。自分が何をしたいのか。それを実現するために、今やるべきことは何か。「本気で」考えて、行動していきましょう。入試の日程や方法など、不確定で流動的です。その中で、準備を進めることができること（勉強、現時点での受験スケジュールを立てるなど）を確実にいき、いざという時に備えることが大切です。

〈進路選択に向けて、気をつけること〉

1. 本当に、自分がやりたい仕事につながる学校なのか、よく考える（特に専門学校の人）。
2. 保護者、担任の先生に必ず相談。 ※一人で判断して動かない。
3. 情報収集する。

① 2校以上を比較して、受験校を決める。

※大学短大、看護を希望する人は、「一番行きたい学校」の他に、「受かったら行きたい学校」を複数考え、どの入試方法で受けるのか、シュミレーションしておくこと。

② オープンキャンパスや、学校説明会に参加する。

オンラインで実施している学校が増えています。現地に行くことが望ましいですが、この状況ですので、感染を拡大させないことが第一です。興味のある学校のHPをこまめにチェックし、情報を集めましょう。 ※出どころのわからない情報は信用しない。



〈情報収集の仕方〉

★ 「スタディサプリ」

- ・ 講義動画が豊富（教科の動画の他、「大学受験対策」→「推薦対策講座」や、「志望理由書ガイド」、「面接・プレゼンテーションガイド」などもある。適宜止めながら自分のペースで視聴できる。）
- ・ 学校や入試情報が、いろんなキーワードから検索できる。

★ その他 web サイト（一例）

・ 「さんぽう進学ネット」

「志望理由書書き方講座」、「入学願書の書き方」、「小論文講座」「面接対策」
→ポイントがまとめられている。面接と、志望理由書は、説明動画もある。

・ 「ベネッセ マナビジョン」

学校、職業調べの他、模試のGTZも含めて、志望校の検索ができる。



◆ 2年生 (37回生) へ◆

「諦めるのは37回生らしくない、最後まで頑張ろう。」と学年の先生からお話がありました。昨年のオリエンテーション合宿では、悪天候で予定が変わりました。その中で、最後まで登り切ったみなさんの姿を覚えています。自分の努力や気持ちとは関係なく、状況が変わることはよくあることです。自分の目標を見定め、今やるべきことを具体的に行動に移し、受験準備を進めていきましょう。



◆ 1年生 (38回生) へ◆

今後、進路の実現に向けて考えることについて、学年の先生からお話がありましたね。みなさんは、高校で「学ぶ」必要があると考えて、自分で進学することを決めました。入学して、自分がやりたいと思いついていることがあると思います。まずは、基本的な生活習慣を確立し、予習・復習の習慣をつける、提出物を出すなどの、高校生として当たり前のことができるようにしましょう。